

国際物流業界トピックス

1～5月は6.3%増の1.5億TEU

■中国港湾、上海・寧波など堅調

中国交通運輸部が6月29日に発表した今年1～5月累計の中国港湾のコンテナ取扱量は、前年同期比6.3%増の1億5165万TEUだった。沿海港が6.4%増の1億3358万TEU、内陸河川港が5.7%増の1807万TEUだった。多くの主要港で前年実績を上回り、堅調に推移している。

港別では、世界首位の上海港が6.2

%増の2375万TEUとなり、このペースで推移すれば通年でも過去最高を更新する可能性がある。世界2位の寧波舟山港は9.9%増の1903万TEUだった。深圳港は7.7%増の1532万TEU、青島港は7.5%増の1456万TEU、広州港は2.7%増の1161万TEU、天津港は7.3%増の1066万TEUとなった。

1～4月累計では前年実績を割り込んでいた廈門港は0.1%増の491万TEUとプラスに転じた。蘇州港は3.7%増の432万TEUと堅調に伸びたが、北部湾港は0.7%減の385万TEUと前年実績を下回った。このほか、日照港が7.8%増の331万TEU、連雲港が0.1%増の285万TEU、煙台港が9.5%増の254万TEU、營口港が6.6%増の252万TEU、大連港が3.4%増の226万TEUだった。